

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : JG8GZJ
②氏名(フリガナ) : 林 高広(ハヤシ タカヒロ)
③年齢 : 52歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第三級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ロケーションに恵まれた山岳から430MHz FMを中心に運用し、ハンディ機のみで活動する初心者ハムの皆さんに、より多くの交信機会を提供しています。
- 神奈川県内の特別局運用では、山岳からのUHF帯運用を積極的に担当し、関東エリアを中心に安定したQSOを行い、無線の楽しさを広く届けています。
- 交信中に初心者の方とつながった際には、運用アドバイスを行うほか、JARL各支部が開催するセミナーやイベントを紹介し、無線を続けやすい環境づくりに努めています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- 神奈川県支部役員として、気軽に楽しめるアマチュア無線の魅力を広く発信してきました。今後はさらに活動範囲を広げ、青少年ハムが長く無線を楽しめる基盤づくりを進め、短期間での退会を減らし、無線人口減少の流れを食い止めたいと考えています。
- 現代はSNSを中心に情報収集が行われる時代です。SNSを起点とした草の根的なイベントも数多く生まれています。私は支部広報委員長として、SNSを活用したイベント企画や会員サポートに取り組んでまいりました。その経験を活かし、これまで以上に会員の皆さまに喜ばれる企画を立案し、より広い範囲へ発信していきます。
- JARL会員のメリットが「カード転送のため」に偏っている現状を変えたいと考えています。無料電子QSLの普及が進む中、それだけでは会員減少を止めることはできません。まずは支部から積極的にイベントやセミナー(オンライン含む)を開催し、会員の皆さまへの還元を第一に取り組みます。
- V・U・SHF帯の運用局減少により、アマチュアバンドの将来が危ぶまれています。私自身がこれらのバンドでの運用を積極的に行い、バンドの活性化につなげてまいります。

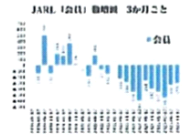
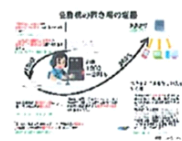
●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 **東京都**)

- ①コールサイン : **JJ1WTL**
 ②氏名(フリガナ) : **本林 良太 (モトバヤシ リョウタ)**
 ③年齢 : **61**
 ④職業 : **団体職員**
 ⑤無線従事者資格 : **第一級総合無線通信士**

力を入れている無線活動

- ・ データ分析 … 総務省・JARL開示データ
- ・ 制度改正ウォッチ … 情通審・WRCの動向, 短波帯デジタル固定局 実験試験局 特定
- ・ SOTA … 富士山剣ヶ峰 ほか
- ・ POTA … アクティベーター支援
- ・ CW運用 … ローカルコンテスト(オールJA1・東京CW), 7MHz JCC/JCG

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)



- 会員各位への速報
 - ・ 社員総会・アイボールパーティ・アイボールミーティング
 - ・ 東京都支部大会 など (2025年は開催なし) (12月)
- 短波帯デジタル固定局 動向把握
 - ・ 実験試験局の場所特定
 - ・ 実地調査
- 制度改正の、総解き — パブコメ募集時など
 - ・ 情通審の委員会報告(案)・法令改正(案)
 - ・ WRC-27対応
- データ分析
 - ・ 局数・資格取得者数・コールサイン進捗
 - ・ 会員数・経営スコア・QSL遅着状況・スパム到来状況 など
- 経営・コンプライアンス・ガバナンス 強化
 - ・ 外部環境分析, 数値的根拠に基づいた中期経営計画
 - ・ 会費「非」納入のライフメンバーも在籍表彰の対象に
- 各社員殿からの提言の整理
 - ・ 社員総会『準備書面』の類型化
 - ・ 過去分を含む
- 歴史調査
 - ・ 過去例: 『アマチュア無線の歌JARL』『CQ』, 44年ぶり発掘
 - ・ 制度の変遷
- インターネット活用/運用・サイバーセキュリティ 支援
 - ・ ネットワークスペシャリスト・応用情報技術者
 - ・ 情報処理安全確保支援士・CISSP
- ほか

現状は、「差別せず」としていた
会費前納会員との約束の反故

<http://motobayashi.net/senkyo/>

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : JH1OHZ
②氏名(フリガナ) : 片倉由一(カタクラ ヨシカズ)
③年齢 : 73歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士、第一級陸上無線技術士

力を入れている無線活動

関東地方本部・監査長としての業務
アマチュア無線を通じた地域社会貢献活動(防災活動)
アマチュア局側要因の電波障害対策に係る支援活動
青少年育成活動
電波適正利用推進員としての活動

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

総合通信局とのさらなる連携強化
神奈川県支部・監査指導委員10年、監査指導委員長10年、関東地方本部・監査長4年の
経験を活かし、総合通信局との接点が多く持てるようになってきました。
さらなる接点の機会をもち情報共有をはじめ、総合通信局との連携強化を図ります。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京)

- ①コールサイン : JAIRTS
②氏名(フリガナ) : 日下 照朗 (クサカ テロオ)
③年齢 : ククオ
④職業 : 無 転
⑤無線従事者資格 : 2アマ

力を入れている無線活動 1日1局を目標に QRV を続けています。
海外を含め少なくとも1か月に1回の移動運用中です。
主に UHF で1エリア会員各局と QSO しています。
あわせて北米 欧州との QSO が多く民間外交もどきの QSO をしています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1 エリア会員各局の要望意見を反映すべく
代弁者に徹して活動しています。

今までに単独要望 社員各局を含めての
要望の内お取り上げ頂いた事案として

- 1) 東南アジアで操業の漁船からの混信対応
- 2) D-STAR で海外レピーターとの容易な接続
リフレクターとの使い勝手の向上の要望
- 3) 委員会議事録の公表要望
- 4) 総会 オンライン中継の要望
- 5) NYP の参加しやすい規約の変更要望
- 6) JARL 版電子 QSL カードの設立の要望

これからも1エリア会員各局に寄り添って
活動を続けて参りたいと思います。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : JI1MFZ
②氏名(フリガナ) : 貫井 淳一 「ぬくい じゅんいち」
③年齢 : 50
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第三級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

JARL東京都支部の青少年科学対策委員を通してJARL本部が協力している日本ボーイスカウト連盟との連携活動への協力ほかニューカマーの育成などをおこなっています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

★ 重点公約

QSLカード転送の効率化: 滞っているカード転送

情報の徹底開示: 理事会の決定プロセスや予算執行を透明化し、会員が納得できる組織運営を目指します。

アクティブ層への支援: コンテストの活性化や、地域コミュニティ(支部)への予算配分適正化を

★最後に 特定の派閥にとらわれず、一会員の視点で是々非々の議論を行います。皆様の貴重な一票を、私[貫井淳一]に託してください。ともにアマチュア無線の未来を創りましょう。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名) 東京都

- ①コールサイン : JO1EUI
タカハシ トシミツ
- ②氏名(フリガナ): 高橋 俊光
- ③年齢 : 61歳
- ④職業 : 会社員(ASIC設計技術)
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- 1 小型アンテナ(短縮ダイポール)でHF帯での運用
- 2 JARL4大コンテストには1時間、30分でも参加する。
- 3 狭帯域デジタル各方式の啓蒙
- 4 楽しみ方は人それぞれ。お互いの楽しみ方を尊重する。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- 1 総務省へのアマチュア局関連規則、告示、審査基準改正陳情の原案作成。
ここ数年の関連規則、告示、審査基準改正は画期的でしたが、これをさらに進化させ、まずは「空中線電力200ワット以下なら工事設計書の廃止」を目指したいところです。
アマチュア無線に影響があるパブリックコメントのJARLの意見作成は、アマチュア無線家も総務省も納得する意見作成をお手伝いしたいです。
- 2 「アマチュア無線でしかできないこと」の創造の提案。
ここ数年の規則改正で、アマチュア業務の定義に「社会貢献条項」が加わったけど、「社会貢献目的で無線機を使いたい方」の目線では「特定小電力やデジタルコミュニティ無線、デジタル簡易無線で十分だよ」と言う方は、アマチュア無線技士の免許取得とアマチュア局の開設はしないし、当然JARLにも入会しないです。
他にも同様の例は有るでしょう。
「アマチュア無線でしか出来ないこと」と「そのアマチュア無線でしかできないことの楽しさ」さらに「JARLに入会することの利点」のPRが必要です。
その素案作成に協力します。
- 3 JARLに入会するメリットの提案
「年会費に対する費用対効果」を要求されますが、JARLは日本のアマチュア無線家を代表する一般社団法人ですから、総務省との折衝や問題運用撲滅などは目に見える活動が必要です。考えを同じくする社員と一緒に活動内容を提案していきます。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : **JI1XKH**
②氏名(フリガナ) : **増田 浩 (マスダ コウ)**
③年齢 : **64**
④職業 : 会社員 (電気通信主任技術者、ネットワークエンジニア、防災士)
⑤無線従事者資格 : 一アマ相当(FCC EXTRA),一陸技,一海通,航空通

力を入れている無線活動

- ・主にCWによる国内外QSO、コンテスト参加、マイクロウェーブ・衛星通信、およびキューブサット開発チーム(大学研究室)への支援。
- ・JE2NRT(静岡県三島市)、JP7SRV(福島県いわき市)、AD6GA(米国)からの運用および、近隣局との情報交換。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

☆今回で6期目の立候補です。

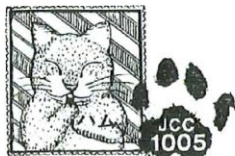
JARLはこの2年で様々な良い変化が現れていると感じます。引き続き財政健全化、迅速な情報提供、ビギナー・自作派HAMへの組織的なサポート体制を求めてゆきながら、JARLの活性化に協力してゆきます。一昨年、アイデアコンクールの事務局メンバーのひとりとして活動できたのも良い経験でした。社員総会では現地へ出席し、自らの意思で議決権を行使しています。過去の社員総会においては、議長団の一員として、担当させていただいたこともありました。もう暫くの間、会員代表のひとりとして、将来のJARLためになればと考えています。

☆主に地域、職域クラブでの活動を中心に、若年層の育成、IT人材の育成、ビギナーHAMへのサポート、体験運用サポートなどを行っています。また、東京都支部監査指導委員会メンバーとして活動を行っており、支部主催の講演会では司会進行役なども担当しました。今後も支部活動に積極的に参加してゆきます。

☆電子工作、ヨットレース、自家用航空機操縦、ドローン空撮、天体観望など幅広い趣味を通じて、国内外のアマチュア無線仲間と意見交換や情報収集を行っています

所属団体(役職)等:

JARLライフメンバー、JAMSAT(理事)、JA1YSW、JA1YTS、JA1YAK、ARRL、KCJ、A1C、
総務省委嘱電波適正利用推進員、
Team7043、東京消防庁災害時支援ボランティア、日本防災士会会員、
シーボニアヨットクラブ(理事)、日本モデルロケット協会認定指導講師、
日本航空機操縦士協会会員、自家用操縦士、星空(准)案内人



TOKYO
ZONE:25

JAPAN
GL:PM95sq

JI1XKH

若い仲間を増やす活動を一緒に
やりましょう!

仲間が居れば、やれることが増え
ます!是非一票ご支援ください!

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

①コールサイン : **JK1FNL**

②氏名(フリガナ) : **小林 直行** (コバヤシ ナオユキ)

③年齢 : 61歳

④職業 : 自由業

⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士 第一級陸上無線技術士 第一級海上無線通信士 航空無線通信士

力を入れている無線活動

- **電子工作(機器の自作)** 最近作は、体験運用用マイク・ヘッドホン切替機、SO2Rインターフェースなど。
- **コンテスト参加** 6m & downにマルチオペマルチバンドのメンバーとして参加、2024-第1位、2025-第2位。
- **DX** 国内では小規模な設備で、CWとFT8を中心に運用。海外からは、6大陸37エンティティからの運用経験あり。
- **初心者・入門者へのサポート活動** 横須賀・逗子VEチームのメンバーとして、米アマチュア無線試験の試験官。湘南ビーチFMのアマチュア無線初心者向け音声番組に制作スタッフとして参加。テーマによっては出演も。
- **書籍、記事執筆** 著書、記事執筆多数。2025年は、米アマチュア無線試験問題の日本語訳本など6冊を自費出版。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

●「これからも自作を楽しむこと」に対して危機感を持つ立場から活動し貢献します。

アマチュア無線の大きなメリットである「自作送信機を使用できること」が、これからも存続できるか危機感を持っています。1陸技、1海通を取得する過程で学んだアマチュア無線以外の無線関連法制度の知識も活かし、制度改正の働きかけ等に貢献できます。

●コンテストを積極的に楽しんでいる立場を活かして貢献します。

コンテストは、初心者や自作派にとっても、交信の機会が増えることもあり、アマチュア無線の活性化に効果的です。一方で、開催時間の割には、参加局数が少ないとも感じます。「電信と電話の両方を得点として認める」などで交信の機会を増やすなど、コンテストの活性化を提案していくことで貢献できます。

●海外運用の経験を活かして貢献します。

これまで、37エンティティからの運用経験があります。各国から運用許可や免許を得てきた過程で、世界のアマチュア無線制度に関する理解が進みました。よいところを我が国の制度にも取り入れられるように提言していくなど、経験を生かした貢献ができます。

●初心者のサポート活動を活かして貢献します。

アマチュア無線体験局の経験から、「アマチュア無線には魅力がない」のではなく、「知られていない」ことを痛感しました。若い世代だけでなく、年配者に対しても、「大人の知的な趣味」の側面を、大いにアピールする必要があると感じています。初心者向け音声番組制作の経験も活かし、アマチュア無線の裾野を広げる活動で貢献できます。

●書籍、記事執筆の経験を活かして貢献します。

これまでに、アマチュア無線関連書を多数商業出版しています。また、アマチュア無線専門誌だけでなく、インターネットやSFの専門誌も含め、約250本のアマチュア無線記事を執筆してきました。2025年は、アメリカのアマチュア無線試験問題の日本語訳を制作、自費出版しています。このように、アマチュア無線の楽しみを情報発信していく活動で貢献できます。

●各種イベントに参加している経験を活かして貢献します。

これまでに、アマチュア無線以外のさまざまなイベント(Interop、日本SF大会、コミケほか多数)にも、一般参加者、出展者、ときには講演者として参加してきました。それらの経験をもとに、アマチュア無線イベントに関する各種提案で貢献できます。これまでに、ハムフェアに関する社員総会での意見が、(もちろん、他の会員の意見も反映されてのことでしょうが)「ライトニングトーク(≒サテライトステージ)」、「ジャンルごとのブース配置」などで実現しています。

●しがらみや忖度のない公平な視点で貢献します。

4年前に社員として選んでいただくまで、次世代通信委員会委員を例外として、JARLの活動に積極的に携わっていませんでした。しかし、このことは、しがらみのない、「新しい視点でのJARLとアマチュア無線にとってプラスになる活動」につながるものと考えます。

たとえば、社員定数の不公平が長年放置されていることです。1エリアの正員だけ、「社員を選挙する権利」が、他エリアの正員の2/3しかないのです。その背景には、長年のしがらみや忖度があるように感じます。しかし、定款に反した状態が正常とは言えず、是正が必要です。

働きかけを続け、2025年の社員総会で、(内容は不十分ながら)社員定数は是正が議題となるところまでできました。引き続き、正常化に貢献していきます。

社員としての活動をWEBページで紹介しています。



これまで、社員総会にあたっては、定款や規則等を読み込み、財務諸表の数字を確認し、議題の内容を検討し、アマチュア無線をより楽しむための提案をまとめ、準備書面を提出し、出席し、質問して、その結果を公開してきました。もちろん、これからもです！

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 千葉県)

- ①コールサイン : JA1STY
- ②氏名(フリガナ) : 鈴木 清 (スズキキヨシ)
- ③年齢 : 76歳
- ④職業 : 自営業(高圧電気保安)
- ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

青少年育成 例: ラジオの製作など (<https://www.jarl.com/carc/carcnews398.html>)
無線クラブのWeb報告 <https://www.jarl.com/tarc/> と <https://www.jarl.com/carc/>
在来モード(CW, SSB, FM)などで国内・海外通信

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

立候補の所信: 会員が主役の組織運営に

1. 執行部一派によるJARLを私物化した独善運営排除
2. 会員不在の説明なき突然のQSOパーティ抽選中止反対
3. 一派により中止となった効果のあった会員増加キャンペーンを復活させる
4. TurboHAMLOGと連携も含む電子QSL導入による会員サービス向上
5. 青少年育成キャンペーン復活で会員増により平均年齢ダウン
6. アマチュアバンドの維持と拡充 IARUとも協調してHFバンドを
マイクロ波愛好団体とも協力しながらUHF、SHFのBAND維持、利用向上
7. 地方本部、支部の活動を活性化するための十分な予算確保
8. アマチュア無線局免許の簡素化推進(資格による包括免許=局免許制度廃止)
9. 海外派遣の厳格化(物見遊山: 無駄な人員派遣を行わない)
10. ロビー活動の強化 前会長が効果を上げた役所との行政方向共通化
11. 議論なしで規則等の勝手な変更反対
12. 前回選挙の際にJARLNEWSに同封された怪文書の出所と責任追求

皆様のご支援をよろしくお願いいたします

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 **群馬県**)

- ①コールサイン : **JA1AAA**
②氏名(フリガナ) : **小林 宣夫(コバヤシ ノブオ)**
③年齢 : **61歳**
④職業 : **地方公務員**
⑤無線従事者資格 : **第一級アマチュア無線技士・第一級陸上無線技術士・第一級海上無線通信士・航空無線通信士**

力を入れている無線活動

国内外との交信及び各種コンテストへの参加

群馬県支部が行う事業への協力支援

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARLの会員数は、7万人を大きく下回り、約6万2千人まで減少してしまった今日、会員数の増加の兆しがみられるものの、今後、更なる会員数の増加と組織基盤の強化を図るためには、「現会員の継続促進」と未来を担う若年者を始めとする「新規入会員の獲得」は、喫緊の重要課題として会員一人一人が真摯に取り組む必要があります。

他方、JARLの経営環境に目を転じてみますと、過去の潤沢な会費収入を背景とした歴代執行部による計画性・将来性の乏しい財務運営の継続は、会員減少による収益悪化と相まって慢性的な支出超過を引き起こし、結果、資産(正味財産)が減少して近年の財務状況は悪化の一途を辿っていることは周知のとおりであります。

令和5年に新執行部体制が発足し、組織運営の透明化が図られ、財政再建に向けた取り組みにより、旧体制から脱却して改善されつつありますが、依然、危機的な財政状況には変わりありません。こうした状況を打開するため、中長期的な「財政再建計画」を早急に策定し、経費削減はもとより、組織のスリム化等の機構改革、新たな事業創出など抜本的な財政再建に向けた施策構築が急務であると考えます。

私は、こうした山積する様々な課題に対処するため、より多くの会員の方々のご意見を掬い上げて、JARLの運営方針に反映させられるように行動することはもちろん、従来と同様「どのような方策が、会員全体にとって一番有効な手立てになるのか」を常に念頭に置き、社員総会等における評決に際しましては、執行部の方針に対して「是々非々主義」で活動していきたいと考えております。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : JO1LDY
②氏名(フリガナ) : 黒木重弘(クロキ シゲヒロ)
③年齢 : 59歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士相当(FCC免許ベース)

力を入れている無線活動

1. 青少年育成
2. アマチュア衛星通信の普及活動
3. 非常通信

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1. 青少年活動は JARL 東京都支部の青少年科学担当の役員として、アマチュア無線の楽しみ、電波の不思議、アンテナの工作などを含めアマチュア無線の普及活動を色々なイベントで実施しております。これを継続して実施したいと思います。
2. 衛星通信は JARL において精通されている方が極めて少ない分野だと思います。JARL はアマチュア衛星の周波数調整の書類を行う組織でもありますし、アマチュア無線の中継を搭載した衛星の管理も行っております。宇宙という分野は青少年育成の中で必ず出てくる分野でもあります。未来の子供たちへの宇宙へのロマンを少しでも伝えるお手伝いが出来ればと思っております。
3. 東日本大震災においては JA1RL にほぼ毎日会社の後に立ち寄り、非常通信に参加いたしました。また、このような関係から、TEAM7043 全国非常通信のためのロールコールに JR1ZEF 文京区アマチュア無線局災害時非常通信連絡会のメンバーとして、また TEAM7043 の関係者としても参画しておりますので、非常通信に関するお手伝いも出来ると思っております。

JARL 東京都支部 副支部長 兼 青少年科学対策委員長

JARL 体験運用推進・ニューカマー支援委員会 委員

JA1RL 運用委員会 委員

ボーイスカウト東京連盟 技能章考査員(無線通信章) ボーイスカウト講習修了済み

JAMSAT(NPO 法人 日本アマチュア衛星協会) 監事

JR1ZEF 文京区アマチュア無線局災害時非常通信連絡会 会員

KCJ 全国 CW 同好会 会員

TEAM7043 全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体 副代表

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県支部)

- ①コールサイン : **JI1RKA**
②氏名(フリガナ) : 板橋直樹(イタバシナオキ)
③年齢 : 37歳(1988/6/1 電波の日生まれ)
④職業 : 会社員(コンピュータプログラマ)
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士/第2級陸上無線特殊技士

力を入れている無線活動

1. 無線ファクシミリ(Radiofax)に関するソフトウェア開発と普及活動

アマチュア無線における無線ファクシミリ運用を対象に、実際の運用環境を踏まえたソフトウェアの開発に取り組んで来ました。多くの方が扱いやすい事を意識し、実用性や分かりやすさを重視しています。近年では、送信可能ファイルも画の他PDFに対応し、ハムフェア等での展示も行っています。

2. 執筆・自費出版活動による情報発信

無線活動や技術的な取り組みを通じて得られた知見を整理し、執筆や自費出版といった形で情報発信を行って来ました。新しい分野に取り組む方の参考となる事を目的とし、継続的な発信を心がけています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に) **これまでを活かし、次へつなぐ。**

「JARLはすべてのアマチュア無線家のための組織である」との考えのもと、初当選直後から若い世代の視点で活動して参りました。1・2期目の活動を踏まえ、お伝えします。

2期目の主な実績

● 社員総会オンライン配信の実現

初当選時より、より多くの会員が社員総会の内容に触れられる環境づくりの必要性を提起した結果、2025年の社員総会においてオンライン配信が実現し、情報共有の機会を広げることができました。

● ハムフェア配信担当チーム(YouTube)

ハムフェアでは配信担当チームとして、YouTubeによる動画配信に携わりました。会場に足を運べない会員にも行事の様子が伝わるよう、サテライトステージの動画編集等に取り組みました。

● 外部来賓との創出と現場での意見交換

アイボールパーティなどの機会を通じて外部との交流を意識した取り組みを行うとともに、各地の支部大会にも参加し、会員の皆さまと直接意見交換を行ってきました。無線活動を社会に開かれたものとして捉え、地域ごとの実情や課題を把握しながら、理解を広げる機会づくりに努めています。

来期に向けた取り組み

● 若い世代への広報強化

若い世代を含む多様な層に活動を知ってもらうため、情報発信の方法や内容の見直しを進めていきます。実情に合った広報の在り方を継続して検討していきたいと考えています。

● 支部大会参加の継続

各地の支部大会への参加を引き続き行い、現場での意見交換を重ねていきます。得られた知見を元に、今後の社員活動に生かしていきます。

● 花博記念局への協力

2027年花博記念局の成功に向け、自分の出来る分野での協力を進めていきます。

● 技術活動・情報発信への支援

ソフトウェア開発や執筆活動など、会員による自主的な技術活動や情報発信が継続しやすい環境づくりを支援していきたいと考えています。個人の創意工夫が生かされる活動を後押ししていきます。

本年はJARL創設100年を迎え、社員としても大きな変革のタイミングとなります。37歳、まだまだ若い世代だからこそやれる、若い世代しか出来ない事も多くございます。是非、皆様一人一人のお力添えで、引き続き社員としての任務に当たらせて下さい。

引き続き、是非「JI1RKA」を社員総会の場に送って下さい!

Web: <https://senkyoji1rka.radio>(→QRからも飛べます) X:@JI1RKA_Lab mail:ji1rkafax@gmail.com



令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : **7L4WVU**
 ②氏名(フリガナ) : 原口 忠 (ハラグチ タダシ)
 ③年齢 : 64歳
 ④職業 : 自営業(前職:外資IT企業 プロジェクトマネージャー PMP®)
 ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士、第一級陸上無線技術士

力を入れている無線活動

- ① 自作の楽しさを広めるため、AKC(アマチュアキットクリエイターズ)メンバーとともに全国のイベントに出展。移動に便利なアンテナアナライザー、Ashi Paddleや小型アンテナなどオリジナル品を開発して頒布。多くのアマチュア無線愛好家の方々と交流しています。JARL QRPクラブでも活動中。
- ② 無線は自作でも十分楽しめることをPRしています。自作機でDXは330エンティティと交信。POTAアクティベーションではQRP自作機とロッドアンテナで全国700か所の公園に移動して1万局とQSO。
- ③ 製作や運用をYouTube動画、ブログやXで発信。イベントで自作関連の講演や技術記事執筆なども
- ④ 国内外の青少年アマチュア無線活動を頒布で得られた収益の一部を使って支援しています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1. JARLの持つ課題に対する貢献

現在、JARLは会員数の減少や高齢化、活動の停滞など多くの課題に直面しており、時代に即した見直しと実行が必要と考えています。SNSやイベントなどでお会いする多くの皆様の声を吸い上げるとともに長年のプロジェクトマネジメント経験から組織運営上の無駄がないか監視、課題に基づく改善提案を行います。加えて、毎日のように発信しているSNSを活用して皆様に情報を展開します。

2. 「自作」という原点からの活性化に貢献

Arduinoや3Dプリンター普及で製作に興味を持つ多くの若い世代は増加、全国のモノづくりイベントはどこも盛況を帯びています。本来、アマチュア無線は自作が原点ということもあり、アマチュア無線の自作を知ってもらうためにMaker faireなどにも出展してPRを行いました。彼らにアマチュア無線を知ってもらい、ベテラン会員の豊富な知識と経験を次世代へ伝える製作会や技術体験イベントなどで交流ができれば、アマチュア無線の年齢層の拡大ができると信じています。

3. ハムフェアやイベントの活性化における貢献

参加者が多くアマチュア無線の絶交のPRの機会にあるハムフェアは、あまりにも出展費用が高く、小人数のグループや若者のモノづくり愛好家達は参加したくてもできません。出展費用を低減するためにこれまでのコスト構造を分析し無駄を省き、イベントの活性化を踏まえた展示方法などについても会員の皆様の意見を聴いて提案していきます。

4. ARDFの普及のための貢献

若者も多く参加しているARDFは、免許不要で広くアマチュア無線を知ってもらう有効な手段ですが、メーカーが撤退しており装置が簡単に入手できない問題に直面しています。これらを解決すべく自ら安価なキットを開発して頒布、製作講習会なども企画することを進めています。

5. SNSやメディアを使った情報発信

数千名のフォロワーを持つ、動画、ブログ、そしてX(Twitter)、イベントでの講演、そしてモノづくりに関する雑誌記事なども執筆しています。これら媒体を使った情報発信に努めます。



ブログ



YouTube



X(旧Twitter)

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : JAIUMW
②氏名(フリガナ) : 小林 大輔(コバヤシ ダイスケ)
③年齢 : 38
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

秋葉原無線部
since 2014



Twitter (X)

@Daisuke_JAIUMW

@cqakiba_tokyo

<http://cqakiba.tokyo/>

力を入れている無線活動

- ✓ 430MHz帯においてスペクトラム拡散(LoRa)の保証認定免許を取得、実際にIoT活用を実験しています。
- ✓ Arduino・RaspberryPi等のマイコン工作と、保証認定不要で運用可能なD-STAR DV DATAを組み合わせて、メーカーズ文化や若年層との技術接続モデルを設計・研究しています。
- ✓ GPSゲーム「駅メモ」を約8年(現在進行形)続けて培った通信技術の活用とコミュニケーション連携の知見を応用し、APRS・D-STAR・ISS(国際宇宙ステーション)等を用いたゲーミフィケーション実験を行っています。
- ✓ 真空管を用いた送信機制作など温故知新の実験も行っています。「真空管ブーム」はオーディオだけの物ではない、アマチュア無線の入口として十分活かせる可能性があります。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

■ 主役と目的の再定義

JARL社員になって2年間、見えてきたのは制度以前に「活動の主役と目的」を明確にする必要性です。この界限、なんでもかんでも「JARLがやらないから悪い!」「俺たちの要求に答えろ!」と主張する風潮が非常に濃くありますが。。。アマチュア無線ってJARLに甘えて依存する趣味ですか? 違いますよね?

アマチュア無線の主役は、アマチュア無線が趣味を趣味とする一人一人です。

JARLは、アマチュア無線に関する趣味活動を、支え、共有し、増幅する役割であるべきだと考えます。

例えば現代では、通信上で直接本人確認、証明交換を行う技術は多数発明されています。それら学び、自分たちで工夫し、用途に合わせて最適化、活用、進歩するのが、「主役のアマチュア無線家」ではないでしょうか。

■ 外部視点による客観的評価

ビッグサイトを始め日本全国で毎週のように開催されている、様々な趣味、創作、技術、研究、が交差するイベント、いわゆる「同人即売会」では、あらゆる趣味の分野を越えた交流や情報交換が活発に行われています。

アマチュア無線も趣味の一つ、外部文化と交流の機会を作る事は、自らの強み弱みを把握する事につながります。見学や参加を推進していく事で、内輪の評価に閉じず、外部の視点を取り入れ、活動の自己目的化を防ぎます。

■ 幅広い貢献者の正当な評価

幅広い貢献者が正しく評価、紹介、支援される仕組みを提案します。

例えば、コミックマーケットを筆頭とする同人即売会、交流会や、現MakerFair等のメーカー系イベントなど、外部の場でアマチュア無線を紹介し続けている会員は少なくありません。彼らは実質的に無線界の広報を担っていますが、その活動は体系的に共有・評価されていない、そもそも他の会員には伝えられていないのが現状です。

JARL会員になれば、自身の活動が公式にも紹介・応援・支援される——その仕組みの整備は、組織の存在意義そのものをアマチュア無線の内面、外面の両方から強化し、会員増強にもつながる強力な施策になると考えます。

■ JARL自身の「活動の趣旨」を忘れず、参加者へ共有する仕組み作り

例えば、JARLの開催するイベント記念局や特別運用は単なる運用機会ではなく、

「社会に対するPR」の場であり、「支部や地域クラブへのお手本」でもあります。

全ての参加者がその目的を理解、自覚し、意図に沿った運用、主体的なPR活動ができる仕組みが必要です。

活動の「目的」と「成果」を明確にし、行事が消費型に終わらない構造を作ると同時に、その活動が正しく実際の活動参画(アクティベーション)へ、そして新しい仲間の獲得へつながる仕組みのストーリー作りを提案します。

■ ソフトウェア技術の可視化と接続

現代のアマチュア無線は、多くの人が使っているログソフトを始め、古くはRTTYやSSTV、無線機の操作パネル、画面表示、DSPフィルタ、ネットワーク連携など、全てソフトウェア技術の組み合わせによって成立しています。

近年流行しているFT8(WSJT)等は、高度な数学+ソフトウェアが実現した賜物です。

...しかし、日本のアマチュア無線界では、それらを産み出す開発者やデジタル実装の成果、研究データが十分に可視化・評価されているとは言えず、ハムフェアの自作品コンテストでも「ソフトウェアは参加不可」等と書かれている始末で、アマチュア無線に必要な技術を育成せず、切り捨てている現状があります。これは現代社会に対しても10年以上出遅れている状態です。私自身もソフトウェア専門ではありませんが、だからこそ、現代の無線を作る技術との接続を、組織として強化し、その成果や作品を評価・記録・共有する仕組みを作る必要があると考えます。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 埼玉県)

- ①コールサイン : J H 1 T I D
②氏名(フリガナ) : 木村 輝美 (キムラ テルミ)
③年齢 : 73歳
④職業 : 自営業
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

「アマチュア無線をやってて楽しかった」と思える
時間を共有していきたい

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

今のJARLの執行部体制が継続すると危ないのではないかと感じる。(私だけではないと思う)

- ①会員の減少が続いている。会員増強対策は？
②ハムフェアは実行委員会に任せていますか？
出店場所の公平性は？
ジャンク店コーナーを通路3M幅 危険性は？
誰が決めるのですかね？
③会長が電波法違反。他人の無線機で交信したの？
④2025年の社員総会では議案のほとんどが否決？
理事会で会長・副会長も反対しているものが何で
提案されるの？
⑤JARLのHPに高尾さんの事いつまで？
令和6年から掲載されていますが・・・

「アマチュア無線をやって良かった。会費は高いけど
JARLに入会して良かった」

となるよう・・・微力ですが協力させてください

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 埼玉県)

- ①コールサイン : J E 1 Q J E
②氏名(フリガナ) : 加 藤 勇 一 (カトウ ユウイチ)
③年齢 : 6 8 才
④職業 : 地域ボランティア
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ①当局の無線活動は移動運用を主体としているため、それに対応したアンテナ・電源・周辺機器類の製作実験・その成果を駆使した無線活動、運用好適地探索などにより、無線活動の楽しさを享受しています。
②地域無線クラブに所属しており、主に小中学生を対象に電子工作・アンテナの製作講座や、体験局活動 国家試受験準備講習の講師・講師補助をおこない、微力ながら若年層ハムの育成に尽くしています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

会員数の保持・新規会員増は組織の維持発展に必要不可欠です。いまアマチュア無線家はJARLに何を求めているのか? 何か不満はあるか? 現会員の意見の把握は当然のことではありますが、実のところ元会員(なぜJARLを脱会したのか?)あるいは加入歴のない非会員(なぜ入会しないのか?)の声を聞くことが非常に大切ではないかと考えてます。

そのための、会員非会員を問わずに誰でももの言える制度の拡充・周知を提案します。

(例えばJARLのHPに意見交換のコーナーを一目瞭然に誰にでもわかりやすく設ける)多くの意見のなかには「耳の痛い・聞きたくない・そう言うのは簡単だけどね」といいたくなる意見もあることでしょうか・・・

会員のためのJARLだから非会員の相手は如何なものか・・・ごもっともです。

しかし、昔からいわれているとおり、日本のアマチュア無線界を代表する唯一の機関でありリーダーであるのがJARLです。少なくとも私はそう考えております。

非会員をたんなる非会員ではなく、明日の会員となる会員予備軍なのだと考え今よりも広く多くのアマチュア無線家の「声」が集められる方策・制度の提案に努めます。

個人で出来ることの限界はありますが、常日頃の無線運用をとおしてJARL活動の紹介や入会のお誘いなど、地道ながらも草の根的活動に注力し、JARLの発展に千万分の一でも役立てればと思います。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 群馬県支部)

- ①コールサイン : JK1OXK
②氏名(フリガナ) : 守田 光穂(モリタミツホ)
③年齢 : 48歳
④職業 : WEB/DTP デザイナー
⑤無線従事者資格 : 第三級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

自宅での運用は2025年冬から始め、CWを中心に7MHzでの交信を行っています。
一方、私のアマチュア無線活動の多くは、POTAでの移動運用です。
アクティベーターとして北関東を中心に国立・県営公園を巡り、
現地の博物館や史料館を訪ねながら、その土地の歴史や文化に触れることを楽しんでいます。
無線だけで終わらず、その地域で食事や入浴なども行い、
「無線をきっかけに、その町と関わる」運用スタイルを大切にしています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私は、JARLを「日本のアマチュア無線という物語の編集者」だと思っています。

アマチュア無線は、30年後も今と同じ形で続いている必要はないのではないかと考えています。技術も環境も社会も変わる以上、無線の楽しみ方や役割も、時代に合わせて変化していくのが自然です。

一方で、これまでの世代が築いてきたアマチュア無線の歴史や文化は、すでに多くが高齢の世代の記憶の中にあり、十分に記録されないまま、静かに失われつつあります。人が減り、新しく始める人も少なくなり、「知っている人がいなくなれば、それは存在しないのと同じ」という状態が、現実のものになりつつあります。

私は、JARLの30年後の本質的な役割は、制度やサービスの維持だけでなく、日本のアマチュア無線史を記録し、整理し、次の時代に「物語として残すこと」にあると考えています。それは、アマチュア無線という文化を、単なる通信技術ではなく、人間の営みとして後世に残す仕事です。

私自身、紙のQSLカード交換の楽しみに触れる中で、紙でのQSLカード交換の時代は、今後ますます維持が難しくなると実感しています。
デジタルでの交信証明交換、アワード管理、情報発信、イベント運営の仕組みなども、正員数の減少を前提とした形へと再設計していく必要があります。
AIなどの技術を活用できる部分は活用しつつ、最終的に「人が楽しむ文化の核」は、人の手に残す。そのバランスを考えることが、これからのJARLには求められます。

私は無線を始めてまだ数年の初心者です。だからこそ、過去の栄光ではなく、「これからどう残していくか」という視点で、現場の感覚を持って考えることができます。
現役の無線家が納得でき、次の世代が「参加したい」と思える形で、アマチュア無線という物語を編集し続ける。その一端を担うことが、私にできる貢献だと考えています。

より具体的な施策などは特設ブログにて随時発信しています。
よろしければそちらもご覧ください！ <https://x.gd/sSdOL>

